

令和 7 年度 条例予算案

主要事業概要

1. 当初予算案の概要	
（1）令和 7 年度の重要施策	1 頁
（2）令和 7 年度の特色ある事業等	3 頁
2. 各事業の概要	
（1）道路整備	
・ 道路整備アクションプラン	13 頁
・ 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）	15 頁
・ 福岡高速 3 号線延伸事業	17 頁
・ 自転車活用の推進	19 頁
・ 無電柱化の推進	23 頁
・ 交通安全対策	25 頁
（2）河川整備	
・ 治水対策事業（主要な河川整備）	27 頁
（3）下水道整備	
・ 下水道経営計画	30 頁
・ 改築更新（下水道施設のアセットマネジメント）	31 頁
・ 浸水対策（雨水整備 D.O. プラン 2026）	33 頁
・ 浸水対策（雨水整備 レインボープラン 天神）	37 頁
・ 地震対策（下水道施設）	39 頁
（参考）	
・ 道路現況、河川整備状況、下水道普及状況	41 頁
・ 水処理センターにおける主な再生可能エネルギーの取組状況	42 頁
・ 道路下水道局における整備予算の推移	43 頁
・ 令和 7 年度 主な新規着手・整備完了予定箇所	45 頁

令和 7 年 3 月

道 路 下 水 道 局

令和7年度 道路下水道局 重要施策

道路下水道局 当初予算案 総括表

(単位: 百万円)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	前年度比較 (A - B)	対前年比 (A / B)
一 般 会 計	52,632	53,004	△ 372	99.3%
道 路 ・ 街 路	28,591	28,127	464	101.7%
河 川	3,355	4,514	△ 1,159	74.3%
下 水 道 事 業 負 担 金 等	20,686	20,363	323	101.6%
下 水 道 事 業 会 計	116,627	115,422	1,205	101.0%

※四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。



道路・街路整備

令和7年度
(千円)

令和6年度
(千円)

対前年比

○ 幹線道路整備	2,108,446	(2,114,493)	99.7%
・ 都市計画道路の整備、無電柱化の推進 等			
○ 生活道路等整備	3,417,144	(3,899,106)	87.6%
・ 市民生活に密着した道路拡幅や側溝整備			
・ 海辺を活かした観光振興に向けた道づくり			
・ 博多旧市街プロジェクト～歴史・文化に配慮した道づくり～			
・ Fitness Cityプロジェクトの推進 等			
○ 交通安全施設整備	5,809,327	(5,749,295)	101.0%
・ 通学路等の安全対策、道路のバリアフリー化、無電柱化、			
自転車通行空間整備、駐輪場整備、ゾーン30プラス 等			
○ 連続立体交差事業	551,599	(840,621)	65.6%
・ 西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅付近)			
○ 直轄工事費負担金	689,000	(689,000)	100.0%
・ 国道3号 等			
○ 道路施設のアセットマネジメント	5,706,713	(4,414,809)	129.3%
・ 道路や橋梁等のアセットマネジメント			
○ その他	2,221,857	(2,477,528)	89.7%
・ 福岡北九州高速道路公社への出資金・貸付金 等			

第10次 福岡市基本計画

生活の質の向上と都市の成長の持続的な好循環を創り出す

道路下水道局 運営方針

市民の安全・安心を守り 都市の魅力に磨きをかける



河川整備

	令和7年度 (千円)	令和6年度 (千円)	対前年比
○ 治水対策	1,679,529 (	2,441,390)	68.8 %
・ 都市基盤河川及び準用河川の改修 等(周船寺川、金屑川、香椎川 等)			
○ 局地的豪雨対策	15,000 (	25,000)	60.0 %
・ 護岸の改良や河床の洗掘防止 等(長野川)			
○ 環境整備	145,000 (	314,000)	46.2 %
・ 水辺空間を活用したうるおいや親しみのある整備(弁天川)			
○ 河川施設のアセットマネジメント	777,223 (	1,035,234)	75.1 %
・ 排水機場などのアセットマネジメント(吉塚新川排水機場 等)			



下水道整備

	令和7年度 (千円)	令和6年度 (千円)	対前年比
○ 浸水対策	6,230,596 (	5,490,200)	113.5 %
・ 雨水管の整備 等(中部11号幹線 等)			
○ 地震対策	2,774,000 (	1,874,935)	148.0 %
・ 下水管の耐震化 等(七隈第13雨水幹線 等)			
○ 未整備区域の解消	2,297,792 (	2,641,699)	87.0 %
・ 下水管の整備 等(香椎照葉 等)			
○ 合流式下水道の改善	377,451 (	339,000)	111.3 %
・ 浸水対策と連携した浸透側溝整備 等(天神周辺地区)			
○ 再生水利用	455,000 (	492,000)	92.5 %
・ 再生処理施設の整備 等(中部水処理センター 等)			
○ 下水道施設のアセットマネジメント	17,539,161 (	15,951,166)	110.0 %
・ 下水管や水処理センター等のアセットマネジメント(堅粕第3ポンプ場、西部水処理センター 等)			

特色ある事業：都市の成長

1 幹線道路の整備



人・物の広域交流連携を支える放射環状型の道路ネットワークの形成を図るため、都市計画道路などの幹線道路の整備に取り組みます。

予算 2,108,446千円
(道路計画課)

＜令和7年度主な予定箇所＞

- ・(都)粕屋久山線 (継続)
- ・(市)香椎4800号線 (継続)
- ・(都)国道3号線 (継続)
- ・(都)長尾橋本線 (継続)
- ・(都)野間屋形原線 (継続)

幹線道路の整備事例（築港石城町線）

＜整備前＞



＜整備後＞



2 都心部の機能強化と魅力づくり



都心部におけるまちづくりと連携し、それぞれの地区の特性に応じた道路空間の整備に取り組みます。

天神通線の整備

天神地区における交通混雑の緩和やバスの定時性確保などを図るため、沿線のまちづくりと一体となって(都)天神通線の整備に取り組みます。



予算 156,000千円
(道路計画課)

市庁舎周辺道路の再整備【新規】

市庁舎周辺の道路は、建設から約30年が経過し、更新時期を迎えていることから、まちづくりによって生み出される空間と調和した、みどり豊かで賑わいを感じる道路整備に向けた検討に取り組みます。



予算 12,000千円
(道路計画課)

駐車場の満空情報システム【拡充】



駐車場の空き待ちによる渋滞や、空き駐車場を探し回る「うろつき交通」を軽減するため、スマートフォン等で駐車場の空き状況などを確認できる満空情報システム「福岡市駐車場ナビ天神版」の運営及び拡充に取り組みます。

＜令和7年度の主な内容＞

掲載する駐車場の拡大（天神地区）



予算 37,000千円
(駐車場施設課)

3 九州大学箱崎キャンパス跡地周辺の道路整備



九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりと連携し、最寄鉄道駅（JR箱崎駅、地下鉄箱崎九大前駅）からのアクセス道路等について、誰もが安心して移動できる道路空間の形成に向け、無電柱化等の整備に取り組みます。

＜令和7年度主な予定箇所＞

- ・(市)箱崎111号線 (新規)
- ・(市)箱崎146号線 (継続)



予算 621,458千円
(道路利活用推進課)



道路

予算 532,000千円
(道路計画課)

(道路計画課)



- ・志賀島：美装化 等（継続）
- ・北 崎：無電柱化 （継続）



予算 102,000千円
(道路計画課)

整備状況（博多通り）



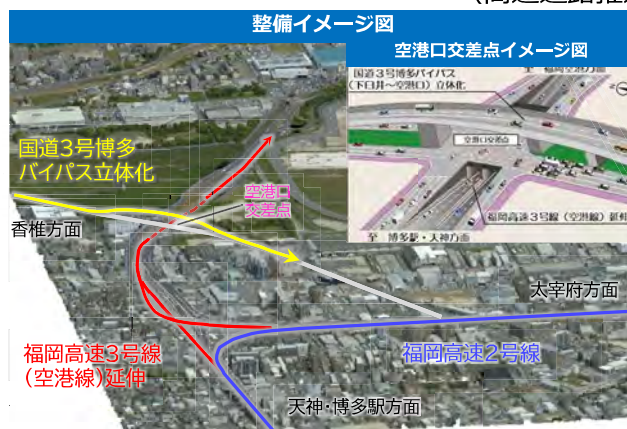
・(市)店屋町318号線 外(土居通り) (継続)

道路

予算 840,000千円
(高速道路推進課)

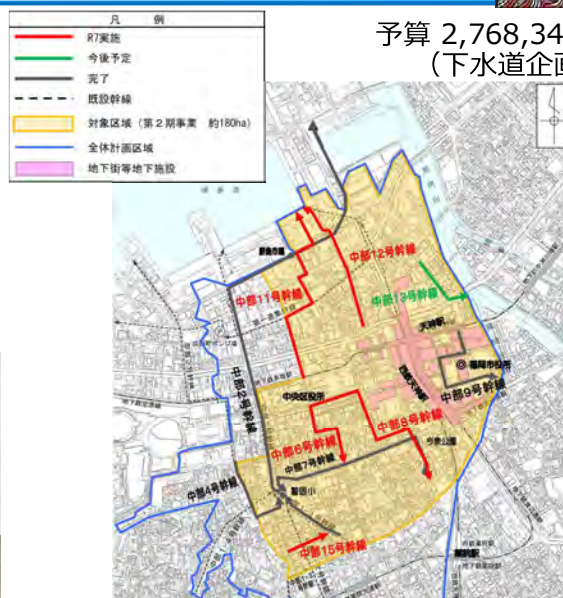
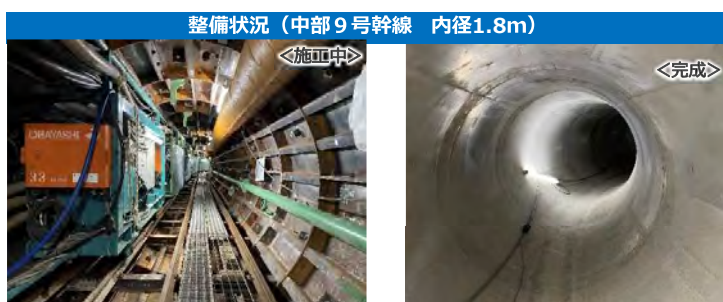
- ・用地買収・地下埋設物移設工事 等

(事業主体：国土交通省)



予算 2,768,340千円
(下水道企画課)

中部11号幹線 (新規) 等



特色ある事業：生活の質の向上

7 自転車活用の推進



「福岡市自転車活用推進計画」に基づき、以下の整備を推進します。

予算 757,673千円
(自転車課)

自転車通行空間整備の推進

歩行者や自転車、自動車の安全・安心を確保するため、自転車通行空間を整備します。

＜令和7年度主な予定箇所＞

- ・(県)浜新建堅粕線(妙見通り) **(新規)**
- ・(国)385号外1路線(日赤通り) **(継続)**
- ・(主)志賀島和白線(海の中道) **(継続)**



駐輪場整備の推進

まちづくりの進展の機会を捉え、駐輪場を整備します。

＜令和7年度主な予定箇所＞

- ・地下鉄七隈線 橋本駅(令和7年中頃完了予定)
- 駐輪台数：約900台



福岡シェアサイクル事業

シェアサイクルポートとして、公共施設等を有効活用し、都市の回遊性向上や、公共交通の機能補完などを図ります。

8 無電柱化の推進



「福岡市無電柱化推進計画」(令和3年度～令和7年度)に基づき、「防災」「安全・円滑な交通確保」「景観形成・観光振興」などの観点から、無電柱化を計画的に推進します。また、「ファスト地中化※」などの手法の活用に加えて、更なるコスト縮減やスピードアップに向けた検討を進めます。

※官民境界付近に水路や擁壁等がある場所で、民地への引込み線を架空のまま整備する手法

＜令和7年度主な予定箇所＞

- ・(市)箱崎111号線 **(新規)**
- ・(県)桧原比恵線 **(継続)**
- ・(都)国道3号線 **(継続)**

予算 1,786,078千円
(道路利活用推進課)



9 Fitness Cityプロジェクトの推進【拡充】



「福岡100」の一環として、自然と楽しく体を動かしたくなる仕組みや仕掛けがあるまちづくり『Fitness Cityプロジェクト』に取り組んでいます。

令和7年度より、天神地区において「歩きを促す、歩いて楽しい空間づくり」として、花壇やベンチ設置による、木陰を活用した憩い空間整備や、アートと休憩施設を掛け合わせた「アートなベンチ」による、歩きを促す仕掛けづくりに取り組みます。

予算 76,500千円
(道路利活用推進課)





10 公共交通の利便性向上【拡充】



ベンチプロジェクトの推進【拡充】

高齢者や体の不自由な人をはじめ、誰もが安心して外出できる環境をつくるため、これまで歩道幅が狭く設置できなかったバス停のうち約250箇所に細型ベンチなどを設置することで、ベンチプロジェクトの更なる推進に取り組みます。

バス停上屋の設置推進

高齢者や障がい者をはじめとする公共交通利用者への支援の観点から、公共交通利用環境の改善を図るため、バス事業者などと連携を図りながら、バス停への上屋の設置推進に取り組みます。

予算 119,500千円
(道路利活用推進課)

細型ベンチイメージ



11 道路バリアフリー化の推進【拡充】



ユニバーサルデザインの理念に基づき、すべての人が安全で快適に移動できるように、歩道のフラット化、段差のない縁石やエスコートゾーンの設置などに取り組みます。

また、認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまち「認知症フレンドリーシティ」を目指して、「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」に基づいた、認知症の人にも分かりやすい道案内の検討に取り組みます。**(拡充)**

認知症の人にも分かりやすい道案内
(イメージ)



予算 2,326,797千円
(道路計画課)

段差のない縁石の整備事例 (峯崎地区)



改良前

歩道

車道

2cm 段差

改良後

歩道

車道

段差なし

12 交通安全対策の推進



「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関が連携・協力し、引き続き通学路等の安全対策に取り組みます。また、車両走行情報のビッグデータを活用し、最高速度30km/hの区域規制「ゾーン30」とハンパやスムーズ横断歩道などの物理的デバイスを適切に組み合わせた「ゾーン30プラス」に取り組みます。

予算 2,523,296千円
(道路計画課)

歩行空間の確保 (浦田1201号線)



路側のカラー化

ゾーン30プラスの推進 (香陵地区)



スムーズ横断歩道

13 交通円滑化に向けた局所的な対策【拡充】



交通の円滑化を図るため、渋滞が著しい交差点の改良やバス路線におけるバス停カットの整備に取り組みます。

特に、平均速度20km/h未満などの要件から「地域の主要渋滞箇所」として選定されている交差点のうち、渋滞長が長いなどの課題が多い交差点については、抜本的な交通渋滞の改善に向けた検討に取り組みます。**(拡充)**

<令和7年度主な予定箇所>

- ・(県)山田中原福岡線 (五十川1丁目交差点) (継続)
- ・(市)舞鶴薬院線外 (城東橋交差点) (継続)
- ・(県)後野福岡線 (下の原バス停) (継続)

バス停カットの整備事例
(中尾1丁目)



予算 244,900千円
(道路計画課)

交差点改良の整備事例
(弓田交差点)



特色ある事業：生活の質の向上

14 治水対策の推進



治水対策の根幹である河川改修等の推進

予算 2,043,327千円
(河川計画課)

大雨による河川の氾濫を防止するため、護岸の整備などの河川改修や雨水の流出抑制を目的とした治水池の整備などを推進するとともに、河川における親水性の向上を図ります。

河川整備

河川改修を進め、河川の氾濫を防止するとともに、親しみのある水辺空間の整備などを行います。

<令和7年度主な予定箇所>

- ・香椎川 (継続)
- ・周船寺川 (継続)
- ・金屑川 (継続)
- ・弁天川 (継続)



治水池整備

豪雨時等に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入を軽減します。

<令和7年度主な予定箇所>

- ・源蔵池 (継続)
- ・五ヶ村池 (継続)



15 浸水対策の推進



大雨に強い安全・安心なまちづくり

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできました。

引き続き、「雨水整備D o プラン2026」

(令和元年度～令和8年度)の重点地区を

優先的に進めるなど、浸水対策に取り組めます。

<令和7年度完了予定地区>

- ・上呉服町
- ・大楠

※重点33地区：令和8年度完了予定

予算 3,462,256千円
(下水道企画課)



16 アセットマネジメントの推進



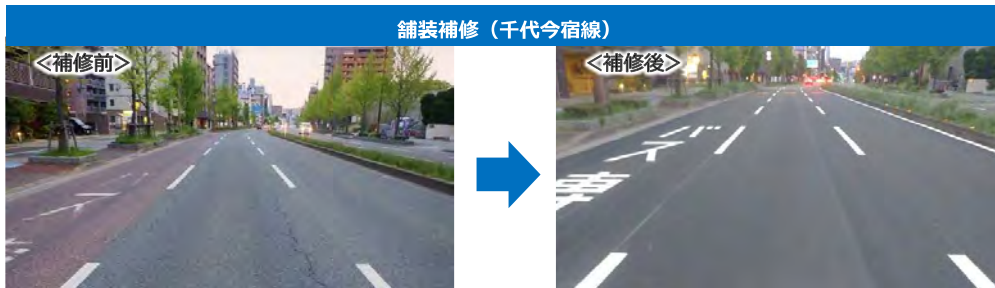
道路・河川・下水道施設の予防保全型の維持管理の推進

市民の安全で快適な生活に欠かせない、道路・河川・下水道施設の多くが、今後、老朽化等による更新期を迎え、膨大な更新費用が必要となるため、従来の事後保全型の維持管理から計画に沿った予防保全型の維持管理へ転換し、施設の長寿命化と財政負担の低減・平準化を図ります。

道路のアセットマネジメント等

予算 5,908,003千円
(道路維持課)

定期点検の結果や路面下空洞調査等を踏まえた、予防保全型の修繕等を実施します。
対象施設：舗装、橋梁、トンネル、横断歩道橋、アンダーパス 等



河川のアセットマネジメント

予算 777,223千円
(河川計画課)

河川管理施設である護岸、排水機場及び水門などの老朽化に伴う更新費用の増大に対応するため、計画的な更新・修繕により、ライフサイクルコストの縮減や投資の平準化を図りつつ、施設の長寿命化を図ります。



下水道のアセットマネジメント

予算 17,539,161千円
(下水道企画課・下水道計画課)

適切な維持管理による長寿命化を図るとともに、ライフサイクルコストの最小化を図りながら、下水道施設のアセットマネジメントを推進します。
下水管については、テレビカメラによる劣化状況調査等の結果を踏まえ、計画的な改築更新を進めることにより、下水管の老朽化に起因する道路陥没事故の未然防止を図ります。
また、施設の整備時期が早く、老朽化の進んだ都心部については「都心部下水道主要施設再構築プラン（令和6年度～令和25年度）」に取り組めます。



17 再生可能エネルギーの導入推進



下水バイオガス発電設備の導入拡大【拡充】

予算 545,018千円
(施設調整課)

下水の処理過程で発生する下水バイオガスを利用した発電設備の導入拡大に取り組みます。
令和7年度は、西部水処理センターにおいて発電能力360kWの新設工事を施工中です。
また、和白水処理センターにおいて発電能力100kWの増設工事（増設後300kW）を施工中であり、令和8年3月完成を予定しています。

【発電効果：100kWあたり】

発電能力 100kW

⇒約300t / 年 のCO₂ 削減



発電設備



森林 60haの
CO₂吸収量に相当

みずほPayPayドーム福岡
約9個分



下水道施設における再生電力の調達

予算 134,098千円
(施設調整課)

令和6年度に引き続き、下水道施設で使用する電力を100%再生可能エネルギー由来電力とします。

18 改築更新における省エネ機器の導入

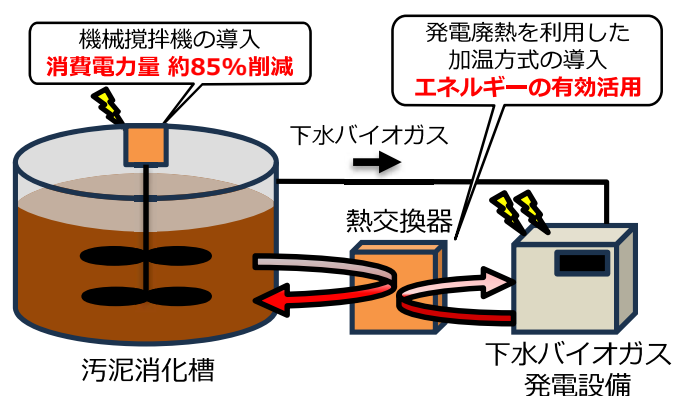
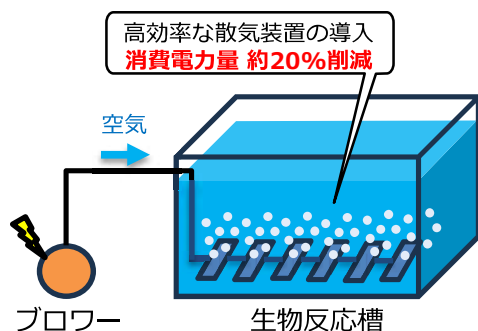


老朽化した設備の改築更新にあわせて、省エネ機器の導入に取り組みます。
生物反応槽には高効率な散気装置を導入し、汚泥消化槽には消費電力の小さい機械攪拌機と下水バイオガス発電設備の廃熱を利用した加温方式を導入することで、水処理センターにおけるエネルギーの削減と有効活用を図ります。

予算 832,627千円
(施設整備課)

生物反応槽設備

汚泥消化槽設備



19 都市インフラプロモーション



建設業の魅力発信（イベント等の実施）

道路、河川、下水道などの都市インフラの役割や建設業の魅力を伝えることを目的に、子どもたちを対象とした、見て触れて楽しめる「技術体験イベント」をふるさと納税も活用し、実施します。

【会場/時期】福岡市役所西側ふれあい広場/令和7年5月（予定）

予算 18,649千円
（総務課・政策調整課）

建設業界における生産性向上への支援 ～ 地場建設企業 × スタートアップ企業 ～

建設業界の生産性向上に向けた取組み等を支援するため、地場建設企業とスタートアップ企業とのマッチングイベント等を実施します。

人材獲得（技術職）に視点を置いた広報

技術職としての将来の人材獲得を目的とした、子ども向けの「お仕事教室」や「SNSを活用した魅力発信」を実施します。



技術体験の例

＜乗り物体験の様子＞

20 下水道分野における国際貢献の推進



JICA（独立行政法人国際協力機構）事業等を通じて、国際貢献・国際協力を推進し、アジアをはじめ国際社会におけるプレゼンスの向上を図ります。

予算 36,060千円
（政策調整課）



JICA国別研修の様子（福岡市の取組みを紹介）

21 DXの推進



道路関連

道路台帳WEB閲覧システム開発【新規】

予算 770千円
(路政課)

道路台帳図等をホームページ上で公開することにより、来庁することなく道路台帳図等の閲覧ができるようになります。(令和8年度供用開始目標)

駐車場の満空情報システム【拡充】

予算 37,000千円
(駐車場施設課)
＜再掲＞

駐車場の空き待ちによる渋滞や、空き駐車場を探し回る「うろつき交通」を軽減するため、スマートフォン等で駐車場の空き状況などを確認できる満空情報システム「福岡市駐車場ナビ天神版」の運営及び拡充に取り組みます。

車両走行情報のビッグデータを活用した交通安全対策

予算 47,000千円
(道路計画課)
＜再掲＞

ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビから収集された車両走行情報のビッグデータを活用し、速度超過や急ブレーキ箇所を見える化します。
潜在的な危険箇所を特定することで、より効果的・効率的に、最高速度30km/hの区域規制とハンプ等の物理的デバイスを適切に組み合わせた「ゾーン30プラス」を推進します。

＜令和7年度主な予定箇所＞

- ・東区舞松原地区 (継続)
- ・博多区三筑・諸岡地区 (継続)
- ・中央区高砂地区 (継続)
- ・南区大橋2丁目地区 (継続)
- ・早良区小田部地区 (新規)



急ブレーキ発生箇所と速度超過箇所を「見える化」することで、潜在的な危険箇所を特定



下水道関連

受益者負担金賦課図のデジタル化

予算 19,899千円
(下水道料金課)

受益者負担金の賦課状況図をホームページ上で公開することにより、電話等で問い合わせをすることなく賦課情報の確認ができるよう、順次デジタル化を進めています。

※「受益者負担金」…土地に下水道が整備され処理区域に指定された時に、その土地の所有者等に対して整備費用の一部負担を求める制度。

※賦課情報の問い合わせ件数：年間約2,400件(電話やメール、窓口)

→土地の動き(売買や開発)がある時などに、土地所有者や開発業者などから問い合わせがあります。

特色ある事業：災害に強いまちづくりの取り組み

1. 災害に強い道づくり

■ 幹線道路の整備

・災害時に円滑な人命救助や物資輸送路を確保するため、都市計画道路などの幹線道路ネットワークの形成に向けた整備に取り組みます。

予算 2,108,446千円
(道路計画課)
＜再掲＞

■ 無電柱化の推進

・「福岡市無電柱化推進計画」に基づき、災害時の避難や救助、物資供給等を行う緊急車両の通行を確保すべき路線とされている緊急輸送道路などにおいて、無電柱化を推進します。

予算 1,786,078千円
(道路利活用推進課)
＜再掲＞

■ 道路橋の耐震化

・「福岡市橋梁耐震補強計画」に基づき、緊急輸送道路に架かる橋梁及び跨線橋・跨道橋について耐震補強を実施します。

予算 436,000千円
(道路維持課)
＜再掲＞

2. 総合治水対策の推進

■ 治水対策の推進

・大雨による河川の氾濫を防ぐため、河川改修や治水池の整備などを推進するとともに、河川における親水性の向上を図ります。

予算 2,043,327千円
(河川計画課)
＜再掲＞

■ 浸水対策の推進

・激甚化・頻発化する豪雨に対応するため、「雨水整備Dpプラン2026」や「雨水整備レインボープラン天神」などに基づき、浸水対策に取り組みます。

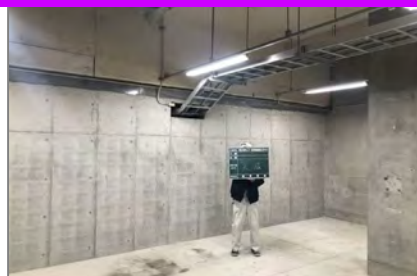
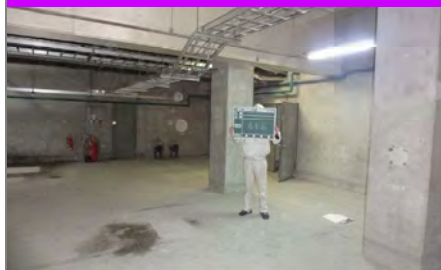
予算 6,230,596千円
(下水道企画課)
＜再掲＞

3. 下水道施設の耐震化の推進

・地震時における下水道機能を確保するため、ポンプ場・水処理センターや緊急輸送道路に埋設された管渠等の重要施設の耐震化に取り組みます。

予算 2,774,000千円
(下水道企画課)

水処理センターの耐震化（耐震壁増設）



4. ソフト対策

■ 災害を想定した訓練の実施（下水道BCP）

・災害時でも下水道が果たすべき役割を実施・継続し、早期復旧に取り組めるよう、訓練の実施や下水道BCP（業務継続計画）のブラッシュアップを行うなど、災害に強い下水道を目指します。

予算 10,000千円
(下水道企画課)

訓練の実施状況



（参考）能登半島地震の支援状況



■ 内水浸水想定区域図の作成（下水道区域全域を対象）

・内水ハザードマップのベースとなる内水浸水想定区域図を下水道区域全域を対象として作成します。

予算 20,000千円
(下水道計画課)